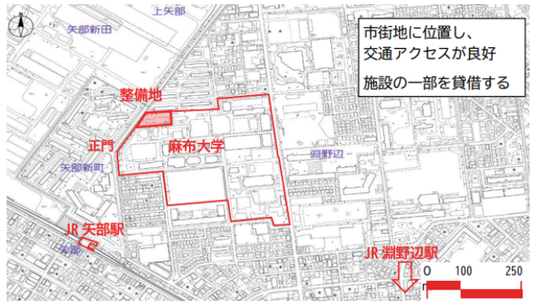
⑯（仮称）相模原市動物愛護センターの整備

（仮称）相模原市動物愛護センターの整備
人と動物との共生社会の実現に向けて、市の動物愛護及び狂犬病予防に関する施策推進の拠点を整備するための「（仮称）相模原市動物愛護センター基本計画」を策定しました。
本市にキャンパスを置く麻布大学の敷地内に動物愛護センターを設置することで令和7年11月18日に基本協定を締結しました。令和12年3月末までに整備を終了するよう進めています。



住居表示	中央区淵野辺１－１７－７１	高さ制限	道路斜線制限　隣地斜線制限
敷地面積	１１１，３０３．０７㎡	日影規制	5-2.5h/4m　10-2.5h/4m
用途地域等/防火地域	第一種住居地域/準防火地域	主たる用途	大学
容積率/建ぺい率	２００%/６０%（角地７０%）	前面道路	幅員１６．１m　接道２０７．１３m

【整備手法】麻布大学施設の一部を貸借する形（賃貸方式）

整備地

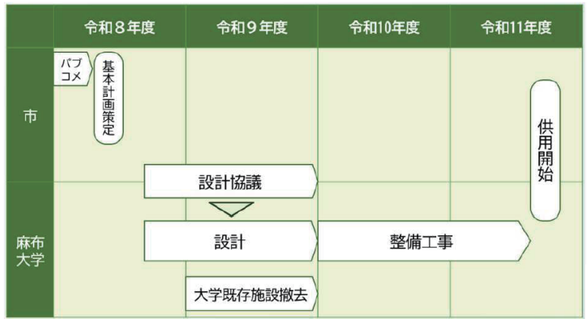
整備地の主な条件
① 動物愛護啓発や譲渡の機会を増やすため、アクセスの良い場所であること
② 災害時の動物救護対策の実施に適した場所であること
③ 関係機関と連携しやすい場所であること

麻布大学に設置することによる主な効果と課題

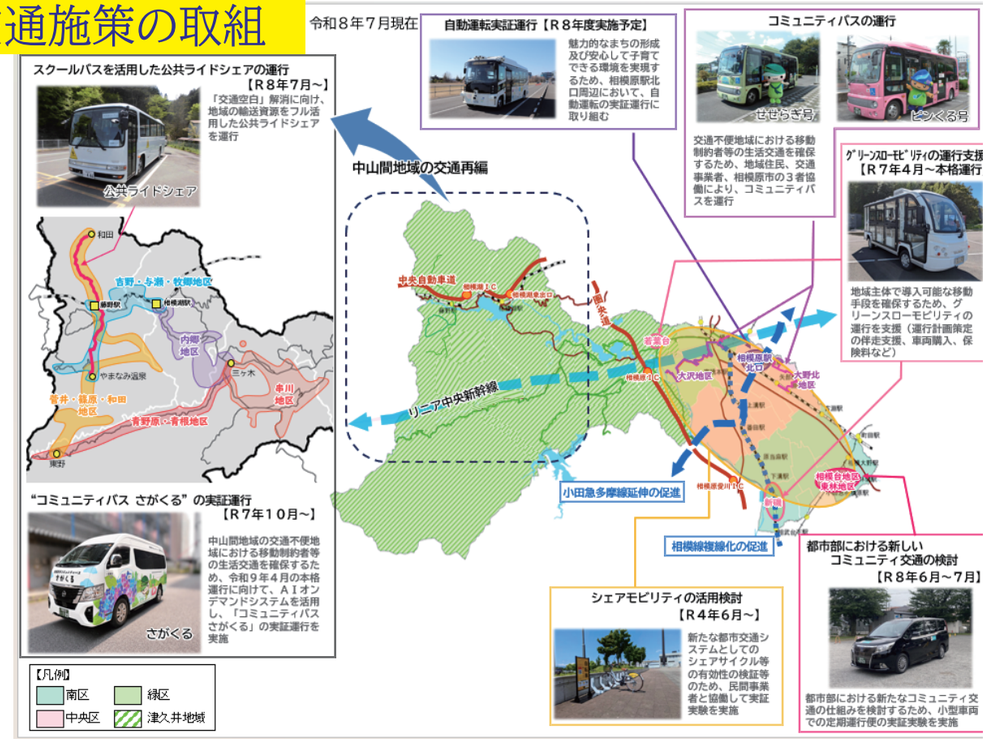
【市への効果】
- 動物愛護の拠点として啓発機能等の向上
- 市民への発信力
- 官学連携によるイメージアップ・話題性（全国２例目、指定都市初）
- 交通アクセスが良く、市民、ボランティア等が訪れやすい

【大学への効果】
- 官学連携、地域連携によるイメージアップ・話題性
- 学生への実践的な動物の取扱いや管理等を学ぶ機会の提供
- 地域や子供への動物に関わる教育の実施に係る官学連携
- 専門的な知識やノウハウをいかした社会貢献

【課題】
- 公共施設としての永続性の確保（賃貸借に係る契約内容の調整）
- 運営の独立性（責任分担）の確保
- セキュリティの確保　等



交通施策の取組



相模原から日本を変える！会
【発行】相模原から日本を変える！会　相模原市南区西大沼 2-52-13　TEL 042-851-6152　FAX 042-851-6162
＊掲載内容は、相模原発表資料をもとに「相模原から日本を変える！会」が編集したものです。

つくる。
幸せ色あふれる
相模原

相模原から日本を変える！

2026 年 夏特別号（まちづくり特集）

もっともっと！

ワクワクする相模原へ！

都市と自然のベストミックス さがみはら
未来を拓くチャレンジを加速します！

市民の皆様一人ひとりと直接向き合い、対話を重ね、積極果敢にチャレンジ。
子どもからシニア世代まで、一人ひとりが健康で安心して、自分らしく幸せに暮らしていけるよう、全力で取り組んでまいります。
このまちに関わる多くの方との新たな出会いと共創の力で、「選ばれるまち相模原」を共に創っていきます。

『子育てするなら相模原』
『教育を受けるなら相模原』
『第二第三の人生を楽しむなら相模原』
『起業するなら相模原』を掲げ、『都市と自然のベストミックス さがみはら』の 魅力を もっともっと！発信して いきます。

